



構成ファイルを作成しています

Snap Creator Framework

Zachary Wambold
August 04, 2021

目次

構成ファイルを作成しています	1
----------------------	---

構成ファイルを作成しています

IBM Domino データベースをバックアップする前に、構成ファイルを作成する必要があります。構成ファイルは、Snap Creator のバックアップおよびリストア処理の入力ファイルです。

設定名とプロファイル名に使用できるのは、英数字とアンダースコアのみです。名前の先頭を数字にすることはできません。



多くのサイトでは、プロファイル単位またはサイト単位のグローバル構成ファイルを使用して、ストレージシステムや VMware のクレデンシャル情報をバックアップおよびリストアの設定に適用しています。グローバル構成ファイルの作成方法の詳細については、[『Snap Creator Framework 4.1.2 Administration Guide』](#)を参照してください。

1. プロファイルと構成ペインで、* プロファイルの追加 * をクリックします。
2. [新しいプロファイル] ダイアログボックスで、プロファイルの名前を入力し、[OK] をクリックします。

新しいプロファイルを作成すると、Snap Creator Framework の設定ウィザードが自動的に起動します。既存のプロファイルに新しい構成を追加するには、プロファイルを右クリックし、* 新しい構成 * を選択します。

設定ウィザードの実行中は、[次へ] をクリックして次のページに進み、[戻る] をクリックして前のページに戻ります。

3. 設定ページで、設定の名前を入力し、パスワード暗号化を有効にするかどうかを指定します。

構成ファイルにクリアテキストでパスワードが表示されないようにするため、パスワード暗号化はデフォルトで有効になっています。



ウィザードのフィールドにカーソルを合わせると、ツールヒントが表示されます。

4. [プラグインの種類] ページで、[* アプリケーションプラグイン *] を選択します。
5. [アプリケーションプラグイン] ページで、[* IBM Domino*] を選択します。
6. Plug-in parameters ページで、IBM Domino バックアップ設定の詳細を指定します。



次の表に、UNIX 環境の例を示します。次の表のスクリーンショットで、Windows の設定の例を確認できます。

GUI パラメータ	CLI パラメータ	説明
Domino データディレクトリ	DOMINO_DATA_PATH	Domino データディレクトリへのパス。たとえば、/Domino/data のように指定します。
notes.ini パス	DOMINO_INI_PATH	notes.ini ファイルへのパス。たとえば、/Domino/data/notes.in などです

GUI パラメータ	CLI パラメータ	説明
情報ディレクトリを変更します	DOMINO_CHANGE_INFO_PATH	changeinfo ファイルへのパスたとえば、 /changeinfo と入力します。 * 重要： * Domino データボリューム以外のボリュームに changeinfo ファイルを保存してください。
バックアップタイプ	DOMINO_DATABASE_type	バックアップするデータベースファイル。GUI のドロップダウンから値を選択するか、 CLI コマンドで対応する番号を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • すべて (推奨) (CLI = 0) • *.box ファイル (CLI=1) • *.nsf、 *.nsg、 および *.nsh ファイル (CLI=2) • *.NTF ファイル (CLI=3)
IBM Domino インストールディレクトリ	ロータス	Domino バイナリファイルがインストールされているディレクトリへのパス。Linux の場合は、 /opt/IBM/Domino など (デフォルトのインストールパスを想定)。Windows では、 Domino Shared Objects ディレクトリの親です。 * 注： * これは IBM Notes (以前の Lotus Notes) へのパスではありません。
Domino 共有オブジェクトへのパス	Notes_ExecDirectory	Domino 共有オブジェクトファイル (.so または .dll) を含むパス。たとえば、 /opt/IBM/Domino/notes/latest/linux のようになります。
データ復元ディレクトリ	DOMINO_RESTORE_DATA_PATH	ボリュームリストアの場合 (バックアップの作成元と同じ場所にリストアする場合)、 Domino データディレクトリのパス。単一ファイルのリストア (NFS のみ) の場合は、 Domino データディレクトリと同じボリューム上の場所。たとえば、 /domino/data/restore のように指定します。

GUI パラメータ	CLI パラメータ	説明
Domino データディレクトリを検証します	VALIDATE_DOMINO_DATA_PATH	Domino 環境に複数のマウントポイントがある場合、一部のマウントポイントはネットアップストレージ上に存在することもあれば、そうでない場合もあります。GUI ドロップダウンから値を選択するか、CLI コマンドで対応する値を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • yes - Domino データディレクトリパスのファイルのみをバックアップします • NO は、ディスク上の場所に関係なく、Domino 環境内のすべてのファイルをバックアップします。

次の例は、Windows 環境のフィールドを設定する方法を示しています。

Domino Data Directory:	<input type="text" value="F:\Domino\data"/>
notes.ini Path:	<input type="text" value="C:\Lotus\Domino\notes.ini"/>
Change info Directory:	<input type="text" value="I:\changeinfo"/>
Backup Type:	<input type="text" value="Everything"/> ▼
IBM Domino installation directory:	<input type="text" value="C:\Lotus"/>
Path to Domino shared objects:	<input type="text" value="C:\Lotus\Domino"/>
Data Restore Directory:	<input type="text" value="F:\Domino\data"/>
Validate Domino Data Directory:	<input type="text" value="Yes"/> ▼

7. Agent Configuration ページで、Snap Creator エージェントの接続情報を指定します。

フィールド	手順
IP/DNS	Snap Creator エージェントホストの IP アドレスまたは DNS ホスト名を入力します。
ポート	Snap Creator エージェント（9090）のデフォルトポートを使用していない場合は、ポート番号を入力します。
タイムアウト（秒）	デフォルトのままにします。

8. 入力が完了したら、* エージェント接続のテスト * をクリックして、エージェントへの接続を確認します。



エージェントが応答しない場合は、エージェントの詳細を確認し、ホスト名解決が正しく機能していることを確認します。

- Storage Connection settings ページで、プライマリストレージシステムの Storage Virtual Machine (SVM、旧 Vserver) の接続情報を指定します。

フィールド	手順
交通機関	SVM との通信に使用する転送プロトコルとして、HTTP または HTTPS を選択します。
Controller/Vserver ポート	SVM のデフォルトのポート (HTTP は 80、HTTPS は 443) を使用しない場合は、ポート番号を入力します。

◦ 注： * OnCommand プロキシの使用方法については、を参照してください "『 Snap Creator Framework 4.1.2 Administration Guide 』"。

- Controller/SVM のクレデンシャルページで、プライマリストレージシステムの SVM のクレデンシャルを指定します。

フィールド	手順
コントローラ / SVM の IP または名前	SVM ホストの IP アドレスまたは DNS ホスト名を入力します。
Controller/Vserver ユーザ	SVM ホストのユーザ名を入力します。
Controller/Vserver パスワード	SVM ホストのパスワードを入力します。

◦ 重要： SnapMirror または SnapVault デスティネーションに Snapshot コピーをレプリケートする場合は、この手順で入力する SVM の名前が SnapMirror 関係または SnapVault 関係を作成したときに使用した SVM の名前と正確に一致している必要があります。関係の作成時に完全修飾ドメイン名を指定した場合は、指定した情報を使用して Snap Creator が SVM を検出できるかどうかに関係なく、この手順で完全修飾ドメイン名を指定する必要があります。重要なケースです。

snapmirror show コマンドを使用して、プライマリストレージシステム上の SVM の名前を確認できます。 snapmirror show -destination-path destination_svm : destination_volume ここで destination_svm_name は、デスティネーションシステム上の SVM の名前、 destination_volume はボリュームです。SnapMirror 関係および SnapVault 関係の作成の詳細については、を参照してください [SnapMirror と SnapVault のセットアップ](#)。

[Next] をクリックすると、 [Controller/Vserver Volumes] ウィンドウが表示されます。

- Controller/Vserver Volumes (コントローラ / Vserver ボリューム) ウィンドウで、左側ペインの使用可能なボリュームのリストから、右側ペインでバックアップするボリュームのリストにドラッグアンドドロップして、バックアップするボリュームを指定し、 * Save * (保存) をクリックします。

指定したボリュームがコントローラ / SVM のクレデンシャルページに表示されます。



changeinfo ディレクトリをバックアップする場合は、ディレクトリを含むボリュームをメタデータボリュームとして設定する必要があります（を参照） [changeinfo ディレクトリをバックアップします](#)。このオプションを指定すると、IBM Domino プラグインに対して、データベースファイルの Snapshot コピー changeinfo volume_after_creating の Snapshot コピーの作成を指示します。

- 別のプライマリストレージシステムにバックアップする SVM の詳細とボリュームを指定する場合は、コントローラ / SVM のクレデンシャルページで * 追加をクリックします。
- Snapshot の詳細ページで、Snapshot の設定情報を指定します。

フィールド	手順
Snapshot コピー名	Snapshot コピーの名前を入力します。* ヒント：構成ファイル間で Snapshot コピー名を再利用する場合は、* Allow Duplicate Snapshot Copy Name * をクリックします。
Snapshot コピーラベル	Snapshot コピーの説明を入力します。
ポリシータイプ	[* ポリシーの使用] をクリックし、この構成で使用できるようにする組み込みのバックアップポリシーを選択します。ポリシーを選択したら、「* Retention * 」セルをクリックして、そのポリシータイプを保持する Snapshot コピーの数を指定します。* 注：* ポリシーオブジェクトの使用方法については、を参照してください " 『 Snap Creator Framework 4.1.2 Administration Guide 』 "。
Snapshot コピーの削除を防止	保持するコピー数を越えた Snapshot コピーを Snap Creator で自動的に削除しない場合にのみ、「Yes」を指定します。* 注：* 「はい」を指定すると、原因でサポートされるボリュームあたりの Snapshot コピー数を越えてしまう可能性があります。
ポリシー保持期間	保持するコピー数を越えた Snapshot コピーを保持する日数を指定します。ポリシータイプごとに保持期間を指定するには、policy type : age と入力します。たとえば、daily : 15 と入力します。
命名規則	デフォルトのままにします。

次の例で指定した設定では、日次バックアップが実行され、4 つの Snapshot コピーが保持されます。

Snapshot copy Name:

Snapshot copy Label:

Policy Type: Use Policy Use Policy Object

Snapshot copy Policies		
Enable Policy	Policy Name	Retention
<input type="checkbox"/>	hourly	0
<input checked="" type="checkbox"/>	daily	4
<input type="checkbox"/>	weekly	0
<input type="checkbox"/>	monthly	0

Prevent Snapshot copy Deletion:

Policy Retention Age:

Naming Convention: Recent Timestamp

14. 1 つ以上のデータベースに整合性がないか破損している場合にバックアップ処理を強制的に続行するには、Snapshot の詳細の続きページで、「* アプリケーションエラーを無視する *」を「はい」に設定します。

残りのフィールドは無視してください。



Domino 環境は、数百、数千のデータベースで構成されることがあります。データベースが 1 つでも不整合状態または破損している場合、バックアップは失敗します。[アプリケーションエラーの無視] を有効にすると、バックアップを続行できます。

15. Data Protection ページで、セカンダリストレージへの Snapshot コピーのオプションのレプリケーションを実行するかどうかを指定します。
- SnapMirror * をクリックして、Snapshot コピーをミラーリングします。
ミラーされた Snapshot コピーのポリシーは、プライマリ Snapshot コピーのポリシーと同じです。
 - SnapVault コピーをアーカイブするには、* Snapshot * をクリックします。
 - アーカイブ Snapshot コピーのポリシーを指定してください。
 - 手順は次の手順に記載されています [13](#)。
 - SnapVault wait time * に、Snap Creator が SnapVault の処理が完了するまで待機する時間を分単位で入力します。
 - セカンダリストレージへのレプリケーションを実行する前に、SnapMirror 関係と SnapVault 関係をセットアップしておく必要があります。詳細については、[を参照してください](#) [SnapMirror と SnapVault のセットアップ](#)。
16. Data Protection Volumes (データ保護ボリューム) ページで、* Add * (追加) をクリックし、プライマ

リストレイジシステムの SVM を選択します。

[次へ] をクリックすると、[データ保護ボリュームの選択] ウィンドウが表示されます。

17. [データ保護ボリュームの選択] ウィンドウで、左ペインの使用可能なボリュームのリストから右ペインの SnapMirror 領域または SnapVault 領域のボリュームのリストにドラッグアンドドロップし、[保存] をクリックして、複製するソースボリュームを指定します。

指定したボリュームが Data Protection Volumes (データ保護ボリューム) ページに表示されます。

18. 別のプライマリストレージシステムにレプリケートする SVM の詳細とボリュームを指定する場合は、Data Protection Volumes ページで * Add * をクリックします。
19. SnapMirror / SnapVault デスティネーションシステム上の SVM のクレデンシャルをデータ保護関係ページで指定します。
20. Snapshot コピーおよび SnapMirror / SnapVault 更新に Data ONTAP API ではなく NetApp OnCommand Unified Manager API を使用する場合は、DFM / OnCommand の設定ページのフィールドを設定します。
 - a. Unified Manager のアラートを受け取るには、* Operations Manager Console Alert * をクリックし、Unified Manager 仮想マシンに必要な接続情報を入力します。
 - b. NetApp Management Console のデータ保護機能 * 7-Mode の SnapVault レプリケーションに NetApp Management Console のデータ保護機能を使用している場合は、をクリックし、Unified Manager 仮想マシンに必要な接続情報を入力します。
21. 概要を確認し、[完了] をクリックします。

Snap Creator の Profiles and Configurations ペインに、指定されたプロファイルの下に構成ファイルが表示されます。コンフィギュレーションを編集するには、コンフィギュレーションファイルを選択し、Configuration Content ペインで適切なタブをクリックします。右クリックメニューの * 名前変更 * をクリックすると、構成の名前を変更できます。右クリックメニューの * 削除 * をクリックすると、構成を削除できます。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system- without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.